

夏期  
集中

(全4コマ)

# 教職員のための多文化共生講座

浜松市では、多様な文化を背景を持つ、外国ルーツの子ども達が数多く学校に通っています。彼らとのコミュニケーションの難しさは、体験された先生方にしか分からないと思います。子ども達も先生方も、お互いに自分の気持ちを伝えたり、理解し合ったりしたいと思いつつも、どこかもどかしさを感じることもあるのではないでしょうか。本講座では、外国にルーツを持つ子ども達が持つ可能性をともに考えたり、多文化教育に関するワークショップを体験したりするほか、マイクロアグレッションの視点から子ども達との向き合いを考えます。

日時： 第1,2,3回 2024年8月1日（木）9:15～12:15

第4回 2024年8月23日（金）13:30～16:30



## カリキュラム

	1 時 限 目	2 時 限 目	3 時 限 目	4 時 限 目
	8月1日（木）			8月23日（金）
時 間	9:15～9:45	9:55～10:55	11:05～12:15	13:30～16:30
会 場	浜松市外国人学習支援センター（U-ToC） 中央区雄踏町字布見 9611-1			浜松市教育センター 中央区東三方町 143-4
講 座	外国人学校（ムンド・デ・アレグリア学校）の見学	次世代へつなぐ思い～ブラジル移民劇を通して～	「ひょうたん島問題」から多文化共生を考える	見えない差別“マイクロアグレッション”とは
講 師	松本 雅美氏 ムンド・デ・アレグリア学校 校長	柳澤 クリスチーナ氏 セメンチーニャ（ブラジル人ママの会）代表	河口 美緒 公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）	朴 利明氏 一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）
内 容	外国人学校を見学し、日本の学校との共通点や相違点、生徒達の現状について学びます。	日系ブラジル人として来日し、浜松で子育てを経験した講師のライフストーリーと移民劇の活動から、外国にルーツを持つ子ども達の未来を考えます。	多文化教育を理解するのに最もわかりやすい教材「ひょうたん島問題」のワークショップを行い、多文化共生への理解を深めます。	子ども達と接するとき、どんな言葉がけをしていますか。意図しない発言、行動がときに相手を傷つけることも。「マイクロアグレッション」への理解を深め、教育現場でできることを考えます。

対 象： 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教職員

定 員： 20 人（先着順）

費 用： 無料

申 込： 裏面の申込書にご記入の上、Fax（592-1179）してください

その他： この講座は 4 コマで 1 コースです。全コマ受講できる方を優先させていただきます。

問い合わせ（主催）：

浜松市外国人学習支援センター（U-ToC・ユートック）

浜松市中央区雄踏町字布見 9611-1（雄踏中学校西側・旧雄踏町役場）Tel.053-592-1117

駐車場あり・JR「舞阪駅」より徒歩 10 分

FAX. 053-592-1179

夏期集中・教職員のための多文化共生講座 申込書

日時	①②③8月1日(木) 9:15~12:15、④8月23日(金) 13:30~16:30
ふりがな	
氏名	
所属(学校名)	
住所(学校)	〒
電話番号(学校)	
緊急連絡先 (携帯電話番号等)	
外国人児童生徒担当 経験年数	( ) 学校で ( ) 年間 ( ) 学校で ( ) 年間

・外国人児童生徒・保護者への対応で難しいと思う事は何ですか？

・外国人児童生徒・保護者とコミュニケーションをとるときに何か工夫をしていることはありますか？

問合せ先：

浜松市外国人学習支援センター  
(U-ToC・ユートック)

〒431-0102

浜松市中央区雄踏町宇布見 9611-1

(雄踏中学校西側・駐車場あり)

Tel. 053-592-1117

Fax. 053-592-1179

